

平成16年度総会

日時 平成16年5月18日(火)
会場 栃木県自治会館 「大会議室」



社団法人

日本超音波医学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-1
クロセビア本郷3F

U R L : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsum/>

T E L : 03-3813-5540

F A X : 03-3816-7644

E-Mail : office@jsum.or.jp

平成16年度總會次第

日時：平成16年5月18日(火) 12時30分～13時30分
会場：栃木県自治会館「大会議室」

開会		理事長
議長選出		理事長
理事長挨拶		理事長
議題		
1.平成15年度事業報告	(資料1)	庶務担当理事
2.平成15年度収支決算報告	(資料2)	財務担当理事
3.平成15年度収支決算監査報告	(資料3)	監事
4.平成16年度事業計画(案)	(資料4)	庶務担当理事
5.平成16年度収支予算(案)	(資料5)	財務担当理事
6.平成16・17年度役員及び評議員の選任	(資料6)	理事長
7.会員の除名	(資料7)	理事長
8.名誉及び功労会員推薦	(資料8)	理事長
9.その他		
新理事長挨拶		次期理事長
議事録署名人の選出		議長
閉会		議長
名誉会員の表彰		理事長
功労会員の表彰		理事長
第6回特別学会賞表彰		理事長
第3回松尾賞表彰		理事長
第4回技術賞表彰		理事長
第18回菊池賞(論文賞)表彰		理事長
第5回奨励賞表彰		理事長

(資料1)

平成15年度事業報告

(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)

会員現況

(平成16年3月31日現在)

会員種別	平成15年3月31日 現在数	平成16年3月31日 現在数	増	減	備 考
名誉会員	15	15	+	0	
功労会員	28	29	+	1	
正 会 員	8,681	8,443	-	238	
準 会 員	4,764	4,925	+	161	
学生会員	16	3	-	13	
賛助会員	27(82口)	26(79口)	-	1	
計	13,531	13,441	-	90	

名誉会員(*物故者)

*青柳 健次郎 *加藤 金子 *金 正太郎 *菊 池喜充 *田 中 憲二 *吉 田 常雄 *吉 岡 勝哉
*永山 徳克 *岡 山 大 *仁 益 尚 *実 吉 純 一 *林 有 賀 *三 弘 松 *古 和賀井敏夫 *海老名敏明
*板原 村 *奥 竹 原 靖 明 *福 田 守 道 *渡 藤 安 渡 *松 井 出 正 裕 *尾 平 田 經 雄
(以上30名)

学会誌

平成15年度は、「超音波医学」(和文誌)第30巻Supplement号、第30巻3号から6号と第31巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第30巻Summer号・Autumn号・Winter号と第31巻1号まで4冊、計11冊を発行した。内容は以下のとおり

巻 号		和 文 誌						英 文 誌				
		30-Suppl	30- 3	30- 4	30- 5	30- 6	31- 1	31- 2	30-Sum	30-Aut	30-Win	31- 1
本文ページ数		527	197	106	116	191	95	81	63	77	61	50
主 な 論 文 の 数	原著 (Original Research Article)	-	8 (1)	10 (1)	12 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	34 (4)	44 (5)	30 (4)	14 (2)
	症例報告 (Case Report)	-	20 (3)	12 (2)	0 (0)	14 (2)	6 (1)	12 (2)	4 (1)	6 (1)	10 (2)	6 (1)
	和文翻訳 (Original Research Article)	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (1)	16 (2)	16 (2)	-	-	-	-
	和文翻訳 (Case Report)	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	-
	英文翻訳 (Original Research Article)	-	-	-	-	-	-	-	8 (1)	16 (2)	12 (2)	22 (3)
	英文翻訳 (Case Report)	-	-	-	-	-	-	-	12 (2)	6 (1)	4 (1)	0 (0)
	技術報告 (Technical Note)	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	速報	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	総説	-	28 (2)	42 (5)	48 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	Letters to the Editor	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペ ー ジ 数	Editorial	-	4	2	2	4	2	2	2	2	2	1
	Education	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジ ャ ー ナ ル の 数	学術集会プログラム	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	学術集会抄録	441	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	会告	-	5	10	13	0	21	4	-	-	-	-
	研究会報告	-	0	0	11	10	3	4	-	-	-	-
	地方会抄録	-	32	17	0	54	23	10	-	-	-	-
	学会ニュース	-	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-
	その他	24	97	10	27	90	15	24	3	3	3	7

()内は掲載論文等の数

.特別学会賞

第5回特別学会賞は、次の2名に授与された。
福田 守道(北海道労働保健管理協会)
竹原 靖明(新横浜病院)

.松尾賞

第2回松尾賞は、次の2名に授与された。
田中 幸子(大阪府立成人病センター)
谷口 信行(自治医科大学)

.技術賞

第3回技術賞は、次の3件に授与された。

1.5ハーモニックイメージング
嶺 喜隆

電子ラジアル型超音波プローブの開発及び付随のTissue harmonic imaging software
泉 美喜雄

超音波組織弾性イメージング装置
三 竹 毅

.菊池賞(論文賞)

第17回菊池賞(論文賞)は、次の4編に授与された。

基礎領域

Arterial Blood Flow Occlusion by High Intensity Focused Ultrasound and Histological Evaluation of Its Effect on Arteries and Surrounding Tissues29(Autumn)
ReiFUJIIWARA KazuakiSASAKI Tetsuya ISHIKAWA MakotoSUZUKI Shin-ichiro UMEMURA Miki KUSHIMA Takashi OKAI

循環器領域

左心耳内の血流うっ滞の評価：経食道コントラストエコー法による検討29(4)
岩田亜紀子 高沢謙二 田中信大 吉田マリ子 田村 忍 武井康悦 山科 章

腹部領域

体外式超音波による急性腸炎における腸管径計測の有用性29(2)
西田 睦 木村もと子 澤口智美 沼畑幾久子 石綿澄子 今井希一

Qualitative and Quantitative Analysis of Portal Doppler Waveform
and a Novel Factor of Portal Pulsatility: Systolic Spike Wave29(Autumn)
Hiroyuki SUGIMOTO Tetsuya KANEKO Tsuyoshi HATSUNO ShinTAKEDA Soichiro INOUE Akimasa NAKAO

.奨励賞

第4回奨励賞は、次の6編に授与された。

エコー信号を用いた肝組織性状定量診断の新手法
神山直久

微弱超音波照射による血管内皮細胞におけるNOの産生
金野 敏

肝臓の気泡の取込みを利用した類洞イメージの基礎、臨床的検討
飯島 尋子

2種類の超音波造影剤が血小板・肝組織に与える影響の比較検討
重田浩一郎

HIFU照射によるラット大腿動脈の機能的反応と組織学的変化
石川 哲也

経気管超音波内視鏡(TUS)による胸部X線無所見肺癌の深達度診断
高橋 博人

学術集会

第76回学術集会(会長 名取 博)は、平成15年5月9日(金)、10日(土)、11日(日)の3日間、北海道厚生年金会館、及びホテルロイトン札幌(北海道)を会場として開催した。参加人員2,503名、発表内容は下記のとおり。

第76回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 12題 一般演題 351題(基礎 47、循環器87、消化器126、泌尿器21、産婦人科25、表 30、その他19) 合計 363題
特別講演	1)情報工学からみたデジタル医用画像の計算処理
招請講演	1)Echocardiographic Assessment of Left Ventricular Diastolic Function 2)Progress in Real-Time 3D Echo of the Heart 3)Chest Ultrasound: An Indispensable Diagnostic Tool in Pulmonary Medicine
教育講演	1)日本における超音波内視鏡(EUS)開発の歴史 2)超音波診断のための電気的・音響的安全性の基礎知識
プレナリーレクチャー	1)Contrast enhanced phase inversion ultrasound versus dual phase spiral CT in the detection of liver metastasis: a study with intraoperative sonographic correlation
シンポジウム	1)血流 New Horizon -超音波で血流を観る- 2)動脈硬化診断技術の最前線 3)肝臓診療における超音波の新潮流 4)超音波診断は呼吸器病学をどのように変えたか? 5)超音波気泡学の基礎と臨床 6)超音波治療の最近の進歩 7)Myocardial Strain の来し方行く末 8)超音波診療におけるコメディカルの活動 -その役割と将来の展望-
ワークショップ	1)産婦人科腫瘍 -診断精度向上のために- 2)超音波画像のデジタルファイリング -診療情報として効果的に活用するために 3)超音波によるSmall Parts 固形癌の確信度の表現方法
教育セッション	1)Fundamental 2)Primary 3)Up-Date in practice
その他	ランチョンセミナー イブニングセミナー 新技術開発セッション
機器展示	22社
DICOM展示	10社

地方会学術集会

下記の地方会学術集会が開催された。

a. 北海道地方会学術集会

第25回 会長 菊池健次郎

平成15年10月11日 於：旭川医科大学(旭川市) 参加者：85名 演題数：29題

第26回 会長 北畠 顕

平成16年1月31日 於：北海道大学医学部臨床大講堂(札幌市) 参加者：154名 演題数：23題

b. 東北地方会学術集会

第26回 会長 伏見悦子

平成15年9月21日 於：横手セントラルホテル(横手市) 参加者：220名 演題数：24題

第27回 会長 小岩喜郎

平成16年3月21日 於：民陵会館(仙台市) 参加者：254名 演題数：30題

c. 関東甲信越地方会学術集会

第15回 会長 名取道也

平成15年10月4日～5日 於：品川区立総合区民会館「きゅりあん」(東京都) 参加者：1,160名 演題数：86題

d. 中部地方会学術集会

第19回 会長 後藤和夫

平成15年7月6日 於：多治見市文化会館(多治見市) 参加者：370名 演題数：49題

第20回 会長 山雄健次

平成16年1月18日 於：名古屋国際会議場(名古屋市) 参加者：423名 演題数：47題

e. 関西地方会学術集会

第26回 会長 赤松信雄

平成15年8月30日 於：姫路商工会議所(姫路市) 参加者：567名 演題数：76題

第27回 会長 岡 博子

平成16年2月14日 於：大阪国際会議場(大阪市) 参加者：906名 演題数：79題

f. 中国地方会学術集会

第39回 会長 宮崎康二

平成15年9月13日 於：ウェルシティ島根(島根市) 参加者：155名 演題数：47題

g. 四国地方会学術集会

第13回 会長 福田信夫

平成15年10月4日 於：高松商工会議所(高松市) 参加者：175名 演題数：34題

h. 九州地方会学術集会

第13回 会長 真島康雄

平成15年9月14日 於：久留米大学(久留米市) 参加者：664名 演題数：56題

規約等の制定・改正等

1. 制定

- (1) 社団法人日本超音波医学会教育セッション企画・実施要領(平成15年7月25日理事会承認)
- (2) 社団法人日本超音波医学会倫理委員会規程(平成15年12月19日制定)

2. 改正

- (1) 社団法人日本超音波医学会職員給与規則(平成15年12月19日改正)
- (2) 社団法人日本超音波医学会認定超音波専門医資格更新実施内規(平成15年12月19日改正)
- (3) 社団法人日本超音波医学会認定超音波検査士資格更新実施内規(平成15年7月25日改正)
- (4) 社団法人日本超音波医学会認定超音波専門医資格取得に関わる研修要領(平成15年7月25日理事会改正)
- (5) 社団法人日本超音波医学会認定超音波工学フェロー資格更新実施内規(平成16年2月20日改正)

各種委員会等報告

1. 企画委員会(委員長 菅原 基晃)

本学会会員名簿改訂版発行について審議し、次の改訂版はCD等の電子媒体を使う方針を決定し、名簿作成実行委員会を設置した。
本学会会員名簿の電子化についての検討を行った。

2. 機器及び安全に関する委員会(委員長 遠藤 信行)

- a. 「超音波機器等の安全に関するワーキンググループ」を設置し、超音波ならびにマイクロバブルの安全性に関する調査、啓蒙活動を行った。
- b. 超音波診断機器用プローブの表面温度に関し、その安全性について検討した。
- c. 超音波造影剤の安全性について、調査、及び検討を行った。
- d. その他、超音波機器の安全性に関する調査、啓蒙活動を行った。

3. 編集委員会(委員長 名取 博)

「超音波医学」(和文誌)第30巻Supplement号、第30巻3号から6号と第31巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第30巻Summer号・Autumn号・Winter号と第31巻1号まで4冊、計11冊を発行した。
(項参照)

4. 用語・診断基準委員会(委員長 岡井 崇)

- a. 医用超音波用語集の改訂版を完成させた。
- b. 超音波診断基準の検討
1) 「超音波胎児計測の標準化と日本人の基準値」を学会誌に公示した。(超音波医学第30巻3号掲載)
2) 学会誌への公示に向けて、「乳腺疾患の診断のためのガイドライン」(案)の検討を行った。
3) 学会誌への公示に向けて、「循環器領域超音波診断基準」(案)の検討を行った。

5. 保険委員会(委員長 岡井 崇)

- a. 外保連及び内保連へ診療報酬点数改定及び新規適用項目を取りまとめ、要望書を提出した。
- b. 他学会及び関係団体との情報交換を行った。
- c. 会員等から保険診療の査定方針等の意見の収集と整理を行った。

6. 国際交流委員会(委員長 工藤 正俊)

- a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUMFellowship)関係
「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して下記の活動を行った。
1) 2003年度超音波医学会Fellowship研修生を公募し、選考を行い、3名の研修を実施した。
2) 宇都宮のAFSUMB2004大会に外国人を対象とした優秀演題に対して選考し、travel awardsを支給することを決定した。
3) 今後の検討課題について、委員会を開催して検討を行った。
- b. 世界超音波医学学術連合(WFUMB)関係
2003年にモンリオール(平成15年6月1日～6日)にて開催された第10回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
- c. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)関係
2003年度AFSUMB Educational Committee主催の教育ワークショップ(カンボジア)に講師を派遣し、学術支援・国際交流を行った。

7. 教育委員会(委員長 北畠 顕)

- a. 第76回学術集會会期中の平成15年5月9日(金)から11日(日)迄の3日間に開催する第2回教育セッションについての内容を検討し、これに基づき実施することについて、学術集會会長に提案した
- b. 第77回学術集會会期中の平成16年5月17日(月)にコンサレー(宇都宮市)にて開催予定の第3回教育セッションについて検討をし、開催に向けての準備を行った。
- c. 「超音波専門医研修カリキュラム」を学会誌、並びにホームページに公示し、発行も行った。(超音波医学第30巻6号掲載)

8. 超音波専門医制度委員会(委員長 千田 彰一)

- a. 平成15年度に認定した研修施設(新規19施設、更新7施設)に対し、平成15年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示した。(超音波医学第30巻2号)
- b. 第13回超音波専門医認定試験を実施し、合格者52名に対して専門医の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成15年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第30巻5号)
- c. 第9回超音波専門医資格更新を実施し、更新者282名、猶予・保留者9名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成15年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第30巻5号)
- d. 平成15年度超音波指導医の認定審査を行い、新規22名、及び更新95名の委嘱を行い、学会誌に公示し、併せて平成15年12月1日付で超音波指導医認定証を交付した。(超音波医学第30巻6号)
- e. 第14回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。(超音波医学第31巻1号)
- f. 平成15年12月1日現在の超音波指導医・所属施設別一覧を公示した。(超音波医学第31巻1号)
- g. 第10回超音波専門医更新に関する会告を公示した。(超音波医学第31巻2号)
- h. 平成16年度研修施設の指定に向けての審査を行い、新規19施設、更新17施設を指定して、平成16年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する予定である。(超音波医学第31巻2号)
- i. 超音波専門医制度の普及・充実を図った。
1) 超音波専門医受験資格保有者宛に超音波専門医認定試験受験勧奨を行った。
2) 「専門医取得のための超音波医学研修手帳」の頒布拡大の広報活動を行った。
3) 「超音波専門医認定試験問題集」(新訂第3版2刷)を発行した。
また、同問題集新訂版第4版発行に向けて、編集委員会を組織し、発行準備を行った。
4) 超音波指導医の後進育成促進を啓蒙した。

- j.「超音波専門医研修カリキュラム」について、教育委員会と合同で検討を行い、卒後超音波医学研修ガイドライン策定小委員会に、委員を派遣した。
- k.有限責任中間法人日本専門医認定機構総会に出席した。
- l.平成15年8月29日付で厚生労働大臣宛に「専門医認定団体に係る基準該当届」を提出し、平成15年12月3日付で本学会「超音波専門医」が広告出来ることとなった。
- 9.顕彰委員会(委員長 菅原 基晃)
- 第17回菊地賞(論文賞)の選考を行い、4編を授賞した。
 - 第5回特別学会賞の選考を行い、2名を授賞した。
 - 第4回奨励賞の選考を行い、6名を授賞した。
 - 第3回技術賞の選考を行い、3名を授賞した。
 - 第2回松尾賞の選考を行い、2名を授賞した。
- 10.超音波検査士制度委員会(委員長 里見 元義)
- 第19回超音波検査士認定試験を実施し、合格者1,047名に対して検査士の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成16年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第31巻2号)
 - 2004年超音波検査士資格更新を実施し、更新者667名、猶予・保留者36名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成16年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第31巻2号)
 - 超音波医学研修ガイドライン2003年版を発行した。
 - 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
 - 超音波検査士資格更新における関連学会・研究会等の認定基準を作成した。
- 11.超音波工学フェロー認定審査委員会(委員長 金井 浩)
- 第5回超音波工学フェローの認定審査を行い、1名に対して工学フェローを認定し、学会誌及びホームページに公示した。(超音波医学第30巻3号)
また、併せて希望者には平成15年7月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。
 - 第6回超音波工学フェローの公募実施に関する会告を学会誌及びホームページにて公示した。(超音波医学第31巻1号)
 - 第1回超音波工学フェローの資格更新実施に関する会告を学会誌及びホームページにて公示した。(超音波医学第31巻1号)
- 12.研究開発促進委員会(委員長 棚橋 善克)
- 平成15年度研究開発班設置申請18件の審査を行い、10件(継続3件・新規7件)の開発班の設置を認可した。
 - 第76回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施した。
また、「特許相談コーナー」を設け、法律事務所の弁護士が対応した。
 - 5研究会が以下の通り活動を行った。
 - 基礎技術研究会
 - 超音波治療技術研究会
 - カラードブラファントム研究会
 - 超音波薬物遺伝子導入研究会
 - 血管超音波研究会
 - 平成16年度研究開発班設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第30巻5号)
 - 平成16年度研究会設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第30巻5号)
- 13.平成16・17年度選挙管理委員会(委員長 椎名 毅)
- 「社団法人日本超音波医学会役員評議員選任規則」に基づき、平成16・17年度役員及び評議員選出について、選挙を実施し、開票及び集計作業を行い、結果を理事長に報告した。
- 14.倫理委員会(委員長 伊東 紘一)
- 倫理委員会規程を作成した。
 - 倫理委員会委員のうち、会員による内部委員を選任した。
- 15.会員資格審査関係(担当理事(主) 別府慎太郎)
- 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行った。
 - 入会希望者及び退会希望者の審査
 - 除名該当者の審査
 - 会員種別変更希望者の審査
 - 休会希望者の審査
 - 会員規約の改正について、「会員資格問題検討小委員会」を設置し、検討を行った。
- 16.学術集會関係(担当理事(主) 跡見 裕)
- 第79回学術集會会長候補者について、役員及び評議員宛に自薦、並びに他薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定した。
- 17.地方会関係(担当理事(主) 松崎 益徳)
- 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
 - 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行った。
 - 地方会交付金の算定を行い、交付した。
 - 地方会学術集會に関して助言を行った。
 - 地方会講習会に関して助言を行った。
 - 地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行った。
- 18.規約関係(担当理事(主) 千田 彰一)
- 本会規約等の制定、及び改正を行った。(項参照)
- 19.インターネット関係(担当理事(主) 椎名 毅)
- 学術集會、地方会、及び各種委員会等の広報の充実を図った。
 - 会員への情報提供のための環境整備に努めた。
- ・日本医学会関係(担当理事 跡見 裕)
- 第71回日本医学会定例評議員会に出席し、次期日本医学会会長、及び副会長の選挙を行った。
 - 日本医学会シンポジウムに協力した。

日本学術会議関係(担当理事 跡見 裕)

1. 日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加した。
2. 第19期日本学術会議会員の候補者、及び推薦人(推薦人の予備者を含む)の届け出等の手続きを行った。
3. 日本学術会議の在り方に関する説明会に参加した。

平成15年度収支計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科	目	予算額	決算額	差額
基本財産運用収入	基本財産利息収入	70,500	14,400	56,100
会費収入		150,640,500	146,215,000	4,425,500
	正会員会費	(110,227,000)	(104,558,000)	(5,669,000)
	準会員会費	(36,754,000)	(38,349,000)	(1,595,000)
	学生会員会費	(59,500)	(28,000)	(31,500)
	賛助会員会費	(3,600,000)	(3,280,000)	(320,000)
入会金収入		1,079,000	1,107,500	28,500
広告収入	学会誌	4,560,000	2,640,000	1,920,000
学術集会収入		70,000,000	67,104,138	2,895,862
	参加費収入	(22,400,000)	(32,236,138)	(9,836,138)
	展示収入	(47,600,000)	(34,868,000)	(12,732,000)
地方会関係収入	地方会学術集会収入ほか	43,970,000	43,202,832	767,168
学会誌別刷収入		1,200,000	1,321,000	121,000
WFUMB会誌収入		1,900,000	1,710,000	190,000
専門医制度関係収入		5,990,000	6,215,340	225,340
	認定試験	(2,520,000)	(2,120,000)	(400,000)
	更新認定料	(2,810,000)	(2,961,000)	(151,000)
	資料頒布料	(660,000)	(1,134,340)	(474,340)
検査士制度関係収入		35,500,000	33,039,420	2,460,580
	認定試験	(31,750,000)	(29,575,000)	(2,175,000)
	更新認定料	(3,650,000)	(3,416,420)	(233,580)
	資料頒布料	(100,000)	(48,000)	(52,000)
雑収入		2,200,000	1,257,262	942,738
受取利息		300,000	84,997	215,003
特定預金取崩収入		9,000,000	9,000,000	0
	選挙関係積立預金取崩収入	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)
	松尾賞積立預金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
	研究開発班設置積立預金取崩収入	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
当期収入合計(A)		326,410,000	312,911,889	13,498,111
前期繰越収支差額		0	69,810,456	69,810,456
収入合計(B)		326,410,000	382,722,345	56,312,345

支出の部

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
事業費	学会誌経費	56,770,000	62,894,337	6,124,337
	出版費	(33,000,000)	(39,913,756)	(6,913,756)
	発送経費	(18,670,000)	(17,971,325)	(698,675)
	編集委員会費	(1,300,000)	(1,491,243)	(191,243)
	英文校正費	(3,000,000)	(3,169,873)	(169,873)
	査読通信費	(800,000)	(348,140)	(451,860)
	国際交流関係費	7,100,000	7,449,977	349,977
	奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	(0)
	委員会費	(300,000)	(667,250)	(367,250)
	AFSUMB分担金	(3,200,000)	(3,182,727)	(17,273)
	WFUMB機関誌代	2,700,000	2,797,110	97,110
	学術集会関係費	71,000,000	67,868,480	3,131,520
	学術集会経費	(70,970,000)	(67,817,690)	(3,152,310)
	学術集會會議費	(30,000)	(50,790)	(20,790)
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0
	委員会等関係費	5,810,000	4,522,961	1,287,039
	地方会関係費	61,800,000	58,859,695	2,940,305
	地方会学術集会経費	(43,970,000)	(41,398,275)	(2,571,725)
	地方会交付金	(17,410,000)	(17,409,320)	(680)
	運営委員長会議費	(420,000)	(52,100)	(367,900)
	専門医制度委員会費	5,970,000	4,821,652	1,148,348
	専門医認定関係費	(2,490,000)	(2,981,123)	(491,123)
	専門医制度委員会費	(1,480,000)	(1,785,404)	(305,404)
	頒布資料印刷費	(2,000,000)	(55,125)	(1,944,875)
	検査士制度委員会費	13,880,000	13,027,471	852,529
	検査士認定関係費	(11,530,000)	(9,250,338)	(2,279,662)
	検査士制度委員会費	(2,250,000)	(3,704,263)	(1,454,263)
	頒布資料印刷費	(100,000)	(72,870)	(27,130)
	教育委員会費	1,450,000	3,223,598	1,773,598
	教育委員会費	(700,000)	(1,287,303)	(587,303)
	生涯教育費	(750,000)	(1,936,295)	(1,186,295)
	顕彰委員会関係費	7,000,000	6,088,306	911,694
	研究開発促進委員会費	19,700,000	18,937,570	762,430
	研究開発班設置費	(16,000,000)	(15,872,238)	(127,762)
	研究会設置費	(2,200,000)	(2,104,957)	(95,043)
	研究開発促進委員会費	(1,500,000)	(960,375)	(539,625)
事業費計		255,180,000	252,491,157	2,688,843
事務費	人件費	37,200,000	37,312,999	112,999
	会計顧問料	500,000	500,000	0
	福利厚生費	700,000	636,994	63,006
	法定福利費	4,200,000	4,710,531	510,531
	職員交通費	1,490,000	1,573,460	83,460
	事務所賃借料	8,140,000	7,976,256	163,744
	事務用機器賃借料	730,000	711,480	18,520
	備品費	500,000	0	500,000
	文具消耗品費	800,000	851,351	51,351
	光熱水料	700,000	597,769	102,231
	事務OA化費	500,000	531,544	31,544
	会議費	3,400,000	3,430,600	30,600
	印刷費	1,490,000	1,362,213	127,787
	通信費	3,450,000	3,268,754	181,246
	公租公課	1,430,000	1,008,300	421,700
	雑費	700,000	524,372	175,628
	払込手数料	1,300,000	2,658,306	1,358,306
	選挙関係費	2,000,000	2,113,839	113,839
事務費計		69,230,000	69,768,768	538,768
特定預金支出	退職給与引当預金支出	1,500,000	1,500,000	0
予備費		500,000	0	500,000
当期支出合計(C)		326,410,000	323,759,925	2,650,075
当期収支差額(A)-(C)		0	10,848,036	10,848,036
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	58,962,420	58,962,420

正味財産増減計算書
平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
増加の部			
1 資産増加額			
退職給与引当預金増加額	1,500,000		
2 負債減少額		1,500,000	
		0	
増加額合計			1,500,000
減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額	10,848,036		
選挙関係積立預金取崩額	2,000,000		
松尾賞積立預金取崩額	1,000,000		
研究開発班設置基金取崩額	6,000,000		
		19,848,036	
2 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	5,284,460		
		5,284,460	
減少額合計			25,132,496
当期正味財産増減額			23,632,496
前期繰越正味財産額			372,644,906
期末正味財産額合計			349,012,410

貸 借 対 照 表
平成16年3月31日現在

(単位 :円)

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金預金	36,394,107	
郵便振替	11,917,605	
前払金	4,573,500	
仮払金	10,000,000	
未収入金	525,000	
流動資産合計		63,410,212
2 固定資産		
1)基本財産		
投資有価証券	36,000,000	
基本財産合計	36,000,000	
2)その他の固定資産		
退職給与引当預金	8,886,010	
減価償却引当預金	2,500,000	
国際交流積立預金	4,500,000	
名簿刊行積立預金	10,000,000	
選挙関係費積立預金	0	
事務所整備積立預金	84,000,000	
学術奨励積立預金	115,500,000	
松尾賞積立預金	8,000,000	
研究開発班設置基金預金	20,000,000	
電話加入権	192,800	
家屋賃貸借契約敷金	16,384,500	
その他の固定資産合計	269,963,310	
固定資産合計		305,963,310
資 産 合 計		369,373,522
負債の部		
1 流動負債		
前受金	1,177,000	
仮受金	2,382,000	
未払金	690,913	
預り金	197,879	
流動負債合計		4,447,792
2 固定負債		
退職給与引当金	15,913,320	
固定負債合計		15,913,320
負 債 合 計		20,361,112
正味財産の部		
正味財産		349,012,410
(うち基本金)		(36,000,000)
(うち当期正味財産増減額)		(23,632,496)
負債及び正味財産合計		369,373,522

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

個別法に基づく原価基準である。

(2) 退職給与引当金の計上基準

職員が自己都合により退職した場合に対する退職金の100%相当額を計上している。

(3) 資金の範囲

資金の範囲は、現金預金、前払金、仮払金、未収入金、前受金、仮受金、未払金および預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載のとおりである。

(4) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 基本財産の増減はない。

3. 担保に供している資産はない。

4. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金預金	66,498,423	48,311,712
前払金	2,508,300	4,573,500
仮払金	5,000,000	10,000,000
未収入金	723,500	525,000
合 計	74,730,223	63,410,212
前受金	1,406,500	1,177,000
仮受金	1,954,500	2,382,000
未払金	1,362,700	690,913
預り金	196,067	197,879
合 計	4,919,767	4,447,792
次期繰越収支差額	69,810,456	58,962,420

5. 保証債務はない。

財 産 目 録

平成16年3月31日現在

(単位 :円)

科 目	金 額	金 額	金 額
資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手許有高	110,603	
普通預金	りそな銀行本郷支店ほか	36,283,504	
郵便振替	東京00130-8-93294	11,917,605	
前払金	第77・78回学術集会補助金	4,000,000	
"	第14回専門医認定試験会場借料ほか	573,500	
仮払金	第77・78回学術集会貸付金	10,000,000	
未収入金	学会誌(Vol.29-6)以降広告料	420,000	
"	学会誌(Vol.27-2)以降別刷料ほか	105,000	
流動資産	合 計		63,410,212
2 固定資産			
1) 基本財産			
投資有価証券	中央三井信託銀行日本橋営業部 貸付信託	36,000,000	
基本財産	合 計	36,000,000	
2) その他の固定資産			
退職給与引当預金	りそな銀行本郷支店 定期預金	8,886,010	
減価償却引当預金	" "	2,500,000	
国際交流積立預金	UFJ銀行本郷支店 "	4,500,000	
名簿刊行積立預金	りそな銀行本郷支店 "	10,000,000	
選挙関係費積立預金	UFJ銀行本郷支店 "	0	
事務所整備積立預金	東京三菱銀行本郷支店 "	84,000,000	
学術奨励積立預金	UFJ銀行本郷支店 "	30,000,000	
"	みずほ銀行本郷支店 "	85,500,000	
松尾賞積立預金	郵便局 "	8,000,000	
研究開発班設置基金	UFJ銀行本郷支店 "	20,000,000	
電話加入権	3813-5540,5804-8410	192,800	
敷金	(有)クロセビアビル	16,384,500	
その他の固定資産	合 計	269,963,310	
固定資産	合 計		305,963,310
資産	合 計		369,373,522
負債の部			
1 流動負債			
前受会費	平成16年度以降分会費	1,167,000	
前受WFUMB	平成16年度WFUMB購読料	10,000	
会費仮受金	入会未承認新入会員入金分	2,382,000	
未払金	委員会会議費	398,413	
"	平成15年度消費税	292,500	
預り金	平成15年度分雇用保険料ほか	197,879	
流動負債	合 計		4,447,792
2 固定負債			
退職給与引当金		15,913,320	
固定負債	合 計		15,913,320
負債	合 計		20,361,112
正味財産	合 計		349,012,410


平成15年度収支決算監査報告

平成15年度収支決算について、監査をおこなったところ、適正な経理が行われたことを認めます。


平成16年4月19日

社団法人日本超音波医学会

監事

秋本 伸 

監事

伊東正安 

監 査 報 告 書


社団法人日本超音波医学会
理事長 跡見 裕 殿

平成16年 4 月19日

八 重 洲 監 査 法 人

代表社員・関与社員

公 認 会 計 士

極橋正志 

当監査法人は、社団法人日本超音波医学会のここに掲げられている平成15年4月1日から平成16年3月31日までの平成15年度事業年度の計算書類、すなわち収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った。

この監査に当たって、当監査法人は、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して通常実施すべき監査手続を実施した。

監査の結果、上記の計算書類は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び定款に従い、社団法人日本超音波医学会の平成16年3月31日現在の財産の状態及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況を正しく示しているものと認める。

社団法人日本超音波医学会と当監査法人又は関与社員の間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(資料4)

平成16年度事業計画(案)

(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)

平成16年度における本会の事業計画は次のとおりである。

. 学会誌の発行
「超音波医学」(和文誌)第31巻Supplement号、第31巻3号から6号と第32巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)Vol.31 No.2からNo.4とVol.32 No.1までの4冊、計11冊を発行し、会員に配付する。

. 学術集会

学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は学会誌として発行する。

第77回学術集会・第7回AFSUMB大会 (会長 伊東 紘一)
平成16年5月17日～19日(第77回学術集会) 於：栃木県総合文化センター(栃木県)
平成16年5月20日～21日(第7回AFSUMB大会)

以降の予定

第78回学術集会 (会長 菅原基晃)
平成17年5月20日～22日 於：東京国際フォーラム(東京都)
第79回学術集会 (会長 田中幸子)
平成18年5月26日～28日 於：グランキューブ大阪(大阪府)

. 地方会学術集会

下記の地方会の開催を予定している。

- a. 北海道地方会学術集会
第27回 会長 山本克之
平成16年10月16日 於：北海道大学学術交流会館(札幌市)
第28回 会長 高後 裕
平成17年2月26日 於：旭川グランドホテル(旭川市)
- b. 東北地方会学術集会
第28回 会長 佐藤 章
平成16年9月12日 於：ホテル辰巳屋(福島市)
第29回 会長 小野寺博義
平成17年3月20日 於：民陵会館(仙台市)
- c. 関東甲信越地方会学術集会
第16回 会長 竹内和男
平成16年11月6日～7日 於：砂防会館・全共連ビル(東京都)
- d. 中部地方会学術集会
第21回 会長 井内和幸
平成16年10月17日 於：富山国際会議場(富山市)
- e. 関西地方会学術集会
第28回 会長 秋山隆弘
平成16年8月28日 於：千里ライフサイエンスセンター(大阪市)
第29回 会長 増山 理
平成17年2月19日 於：神戸国際会議場(神戸市)
- f. 中国地方会学術集会
第40回 会長 東 俊宏
平成16年9月11日 於：岡山コンベンションセンター(岡山市)
- g. 四国地方会学術集会
第14回 会長 浦岡佳子
平成16年11月6日 於：愛媛県民文化会館(松山市)
- h. 九州地方会学術集会
第14回 会長 宇都宮俊徳
平成16年9月19日 於：佐賀県医師会館・メディカルセンター (佐賀市)

. 教育セッション

第3回
平成16年5月17日 於：コンサーレ(宇都宮市)

. 各種委員会等

1. 企画委員会
a. 本学会会員名簿の電子媒体化と発行を推進する。
b. 理事長より諮問される案件については慎重に審議し、早急に答申するとともに、超音波医学について将来的視野で検討し、委員会独自の提言を行う。
2. 機器及び安全に関する委員会
a. 「超音波の安全性」についての調査、啓蒙活動を行う。
b. 超音波診断機器用プローブの温度上昇に関する調査検討を行う。
c. 超音波造影剤の安全性について、調査、及び検討を行う。
d. DICOM規格に関する超音波画像の運用等について、検討する。
3. 編集委員会
「超音波医学」(和文誌)第31巻Supplement号、第31巻3号から6号と第32巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)Vol.31 No.2からNo.4とVol.32No.1までの4冊、計11冊を発行する。
4. 用語・診断基準委員会
超音波診断基準の作成
1) 「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン - 腫瘍像形成性病変について-」(案)を完成させ、学会誌に公示し、会員からの意見を聞く。

- 2) 「循環器領域超音波診断基準」(案)を完成させ、学会誌に公示し、会員からの意見を聞く。
 - 3) 「超音波乳児股関節所見分類基準」(案)を完成させ、学会誌に公示し、会員からの意見を聞く。
 - 4) 「泌尿器領域の超音波診断基準」(案)の検討及び審議を行う。
5. 保険委員会
 - a. 外保連及び内保連へ診療報酬点数改定、新規適用要望書を提出する。
 - b. 他学会及び関連学会との情報交換を行う。
 6. 国際交流委員会
 - a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUMFellowship)関係
「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
 - 1) 2004年度超音波Fellowship研修生の研修を実施する。
 - 2) 2005年度超音波Fellowship研修生を公募し、選考する。
 - 3) 今後の国際貢献のあり方について検討する。
 - b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
 - 1) 2004年に宇都宮市(平成16年5月20日～21日)にて開催される第7回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 2) 2006年にソウル(平成18年5月28日～6月1日)にて開催される第11回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 3) WFUMBとAFSUMBの関連機関誌にJSUM Fellowshipの募集広告を行う。
 - 4) 2004年に宇都宮市(平成16年5月20日～21日)にて開催される第7回AFSUMB大会に於いて、外国人を対象とした優秀演題に対して選考し、travel awardsを支給する。
 7. 教育委員会
 - a. 第77回学術集會会期中の平成16年5月17日(月)にコンサーレ(宇都宮市)を会場として、第3回教育セッションを開催する。
 - b. 第78回学術集會会期中に東京都にて開催予定の「第4回教育セッション」の企画案を検討し、開催に向けての準備を行う。
 - c. 「超音波専門医研修カリキュラム」の英語版作成に向けての検討を行う。
 8. 超音波専門医制度委員会
 - a. 第14回超音波専門医認定試験を実施し、合格者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - b. 第10回超音波専門医資格更新を実施し、更新者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - c. 平成16年度超音波指導医の新規自薦申請者の公募を行い、新規及び再委嘱候補者の認定審査を行い、委嘱を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - d. 平成16年度研修施設の指定を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - e. 第15回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、準備を進める。
 - f. 第11回超音波専門医更新に関する会告を公示する。
 - g. 有限責任中間法人日本専門医認定機構評議員会に出席する。
 - h. 平成17年度研修施設の指定に向けての審査を行う。
 - i. 「超音波専門医認定試験問題集」(新訂第4版)を発行する。
 - j. 本制度の改革・整備についての審議を行う。
 - k. 本制度に関する会員への啓蒙を積極的に行う。
 - l. 本制度に関する他学会との連携を深める。
 9. 顕彰委員会
 - a. 第18回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
 - b. 第6回特別学会賞の選考を行う。
 - c. 第5回奨励賞の選考を行う。
 - d. 第4回技術賞の選考を行う。
 - e. 第3回松尾賞の選考を行う。
 10. 超音波検査士制度委員会
 - a. 第20回超音波検査士認定試験を実施する。
 - b. 2005年超音波検査士資格更新を実施する。
 - c. 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
 - d. 超音波検査士受験申請書類の審査基準を作成する。
 11. 超音波工学フェロー認定審査委員会
 - a. 第6回超音波工学フェローの認定審査を行い、適格と判定した者を理事会の議を経て認定し、希望者には認定証を交付する。
 - b. 第1回超音波工学フェローの資格更新審査を行い、適格と判定した者を理事会の議を経て認定し、希望者には認定証を交付する。
 - c. 第7回超音波工学フェローの公募を行う。
 - d. 第2回超音波工学フェロー資格更新の公募を行う。
 12. 研究開発促進委員会
 - a. 平成16年度研究開発班の設置申請についての審査を行い、研究開発班の設置を認可する。
 - b. 平成16年度研究会の設置申請についての審査を行い、研究会の設置を認可する。
 - c. 平成17年度研究開発班の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
 - d. 平成17年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
 - e. 第77回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施する。
 13. 倫理委員会
 - a. 倫理委員会委員として外部委員の選任を行う。
 - b. 超音波医学の研究、診療、教育情報、安全に関する倫理的問題について審議、及び検討を行う。
 14. 会員資格審査関係

会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行う。

 - 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
 - 2) 除名該当者の審査
 - 3) 会員種別変更希望者の審査
 - 4) 休会希望者の審査
 15. 学術集會関係

第80回学術集會会長候補者について、役員及び評議員宛に自薦、並びに他薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定する。

16. 地方会関係

- a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
- 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行う。
 - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付する。
 - 3) 地方会学術集会に関して助言を行う。
 - 4) 地方会講習会に関して助言を行う。
- b. 地方会運営委員長会議の開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。
- c. 地方会を通しての正会員数増加の推進を行う。

17. 規約関係

理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。

18. インターネット関係

- a. 英語版のホームページの一層の充実に努める。
- b. 学術集会、地方会、研究会及び各種委員会等の広報の一層の充実に努める。
- c. 会員への情報提供のための環境整備に努める。

. 日本医学会関係

1. 第72回日本医学会定例評議員会に参加する。
2. 日本医学会シンポジウムに協力する。

. 日本学術会議関係

日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加する。

平成16年度収支予算書(案)

収入の部

(単位:円)

科	目	平成15年度予算	平成16年度予算	摘要
基本財産運用収入	基本財産利息収入	70,500	42,000	
会費収入		150,640,500	151,376,000	
	正会員会費	(110,227,000)	(109,603,000)	@13,000 ^円 x 8,431 ^人 (8,516 ^人 x 0.99)
	準会員会費	(36,754,000)	(38,472,000)	@10,000 ^円 x 1,386 ^人 (1,400 ^人 x 0.99)
	学生会員会費	(59,500)	(21,000)	@7,000 ^円 x 3,516 ^人 (3,552 ^人 x 0.99)
	賛助会員会費	(3,600,000)	(3,280,000)	@3,500 ^円 x 6 ^人
入会金収入		1,079,000	1,142,000	@40,000 ^円 x 82 ^名 (27 ^名)
広告収入	学会誌	4,560,000	3,320,000	正@2,000 ^円 x 330 ^冊 , 準@1,500 ^円 x 320 ^冊 , 学生@1,000 ^円 x 2 ^冊
学術集会収入		70,000,000	45,450,000	9 ^冊 x @40,000 ^円 x 7 ^冊 , 3 ^冊 x @40,000 ^円 x 5 ^冊 , 2 ^冊 x @50,000 ^円 x 2 ^冊
	参加費収入	(22,400,000)	(19,450,000)	第77回(宇都宮)
	展示収入等	(47,600,000)	(26,000,000)	
地方会関係収入	地方会学術集会収入	43,970,000	40,550,000	
学会誌別刷収入		1,200,000	750,000	和文誌6回 x @125,000 ^円
WFUMB機関誌収入		1,900,000	1,800,000	@10,000 ^円 x 180 ^冊
専門医制度関係収入		5,990,000	4,820,000	
	認定試験	(2,520,000)	(2,160,000)	@20,000 ^円 x 60 ^人 , @20,000 ^円 x 48 ^人
	更新認定料	(2,810,000)	(1,010,000)	@10,000 ^円 x 98 ^人 , @5,000 ^円 x 6 ^人
	資料頒布料	(660,000)	(1,650,000)	問題集@4,500 ^円 x 300 ^部 , 研修手帳@3,000 ^円 x 100 ^部
工学FIC制度関係収入		0	220,000	
	認定審査	(0)	(20,000)	@5,000 ^円 x 4 ^人
	更新認定料	(0)	(200,000)	@5,000 ^円 x 40 ^人
検査士制度関係収入		35,500,000	35,200,000	
	認定試験	(31,750,000)	(31,350,000)	@20,000 ^円 x 1,300 ^人 , @5,000 ^円 x 1,070 ^人
	更新認定料	(3,650,000)	(3,750,000)	@5,000 ^円 x 750 ^人
	資料頒布料	(100,000)	(100,000)	ガイドライ@1,000 ^円 x 100 ^部
教育関係収入	教育セッション	0	600,000	@2,000 ^円 x 300 ^人
雑収入		2,200,000	2,200,000	
受取利息収入		300,000	200,000	
特定預金取崩収入		9,000,000	11,500,000	
	学術奨励積立預金取崩収入	(0)	(5,500,000)	
	選挙関係積立預金取崩収入	(2,000,000)	(0)	
	松尾賞積立預金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	
	研究開発班設置積立預金取崩収入	(6,000,000)	(5,000,000)	
当期収入合計		326,410,000	299,170,000	
前期繰越収支差額				
収入合計				

支出の部

(単位：円)

科 目		平成15年度予算	平成16年度予算	摘 要
事業費	学会誌経費	56,770,000	62,150,000	
	出版費	(33,000,000)	(40,200,000)	
	発送経費	(18,670,000)	(16,950,000)	
	編集委員会費	(1,300,000)	(1,300,000)	
	英文校正費	(3,000,000)	(3,000,000)	
	査読通信費	(800,000)	(700,000)	英文誌発行(4回/年)
	国際交流関係費	7,100,000	8,160,000	
	J10-トップ奨学金	(3,600,000)	(4,800,000)	@200,000 ^円 /月x6 ^{ヶ月} 2 ^人 , 第7回AFSUMB大会発表者
	国際交流委員会費	(300,000)	(300,000)	助成金 24 ^人 x@100,000 ^円
	AFSUMB分担金	(3,200,000)	(3,060,000)	@3 ^号 x120 ^号 /号x8,516 ^号
	WFUMB機関誌関係費	2,700,000	2,700,000	機関誌 @102 ^号 /号x190 ^号 x120 ^号 /号=2,325,600
	学術集会経費	71,000,000	46,030,000	発送郵便代 366,600 ^円 /年
	学術集会会議費	(70,970,000)	(46,030,000)	第77回 45,450,000 ^円 , 事務局旅費他 580,000 ^円
	学術集会会費	(30,000)	(0)	
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	企画 200,000 ^円 , 機器・安全 1,200,000 ^円
	委員会等関係費	5,810,000	3,800,000	保険 250,000 ^円 , 用語・診断 1,100,000 ^円
	地方会関係費	61,800,000	58,360,000	規約 50,000 ^円 , インターネット 800,000 ^円
	地方会学術集会経費	(43,970,000)	(40,550,000)	倫理 200,000 ^円
	地方会交付金	(17,410,000)	(17,390,000)	前年度繰越金の再交付を含む
	運営委員長会議費	(420,000)	(420,000)	
	専門医制度関係費	5,970,000	5,200,000	
	認定費	(2,490,000)	(2,980,000)	
	専門医制度委員会費	(1,480,000)	(2,220,000)	日本専門医認定制機構年会費・事業経費を含む
	頒布資料印刷費	(2,000,000)	(0)	試験問題集
	工学J10-制度関係費	0	420,000	
	認定費	(0)	(120,000)	
工学J10-制度委員会費	(0)	(300,000)	前年度までは「委員会等関係費」に含む	
検査士制度関係費	13,880,000	13,700,000		
認定費	(11,530,000)	(11,500,000)	試験会場(東京・京都)	
検査士制度委員会費	(2,250,000)	(2,100,000)		
頒布資料印刷費	(100,000)	(100,000)	超音波医学研修がイドライン	
教育関係費	1,450,000	2,580,000		
教育セッション費	(0)	(1,930,000)	第77回学術集会開催中に実施	
教育委員会費	(700,000)	(650,000)		
生涯教育費	(750,000)	(0)		
顕彰関係費	7,000,000	6,500,000		
研究開発促進関係費	19,700,000	18,500,000	特別学会賞, 菊池賞(論文賞), 奨励賞, 技術賞 松尾賞	
研究開発班設置費	(16,000,000)	(15,000,000)		
研究会設置費	(2,200,000)	(2,500,000)		
研究開発促進委員会費	(1,500,000)	(1,000,000)		
事業費計		255,180,000	230,100,000	
管理費	人件費	37,200,000	37,080,000	
	会計顧問料	500,000	500,000	
	福利厚生費	700,000	700,000	
	法定福利費	4,200,000	4,900,000	H15.4月より健康保険・厚生年金保険に 「総報酬制」導入
	職員交通費	1,490,000	1,490,000	
	事務所賃借料	8,140,000	7,820,000	
	事務用機器賃借料	730,000	710,000	
	備品費	500,000	400,000	
	文具消耗品費	800,000	800,000	
	光熱水料	700,000	650,000	
	事務OA化費	500,000	500,000	
	会議費	3,400,000	3,430,000	
	印刷費	1,490,000	1,400,000	
	通信費	3,450,000	3,450,000	
	公租公課	1,430,000	1,390,000	
	雑費	700,000	700,000	
	払込手数料	1,300,000	1,700,000	会員の年会費収納代行業務(コンビニの参入)
	選挙関係費	2,000,000	50,000	
管理費計		69,230,000	67,670,000	
特定預金支出	退職給与引当預金支出	1,500,000	900,000	
予備費		500,000	500,000	
当期支出合計		326,410,000	299,170,000	
当期収支差額				
次期繰越収支差額				

(資料6)

社団法人日本超音波医学会 平成16・17年度役員及び評議員

(自 平成16年5月19日 至 平成18年度通常総会開催日)

理事長	松崎益徳						
副理事長	岡井 崇	千田 彰一					
理事	秋山いわき	跡見 裕	伊東 紘一	伊東 正安	遠藤 信行	金井 浩	工藤 正俊
	里見元義	椎名 毅	菅原基晃	竹中 克	田中幸子	谷口 信行	鄭 忠和
	名取 博	別府慎太郎	山下 裕一				
監事	北畠 顕	八木 晋一					
評議員	赤阪隆史	秋本 伸	秋山隆弘	飯島 尋子	井内 新	石川一男	石川洋子
	石蔵文信	石田 秀明	石光 敏行	伊藤 彰浩	伊藤 貴司	伊藤 秀一	伊藤 浩
	伊藤嘉信	乾 和郎	今井 英夫	入江 喬介	岩瀬 正嗣	内山 正三	宇都宮俊徳
	梅村晋一郎	浦岡佳子	遠藤登喜子	大石 元	大木 崇	大崎 住夫	大槻 茂雄
	大村健二	大柳光正	岡 博子	小笠原康夫	小川 眞広	小澤 優樹	尾辻 豊
	小野 史朗	小野 尚文	尾本きよか	梶谷 文彦	春日井博志	加藤 保之	金子 哲也
	金光敬一郎	亀岡 信悟	唐沢 英偉	川合 宏哉	川内 章裕	河野 敏彦	木佐貫 彰
	木田光広	貴田岡正史	木原 康樹	許 俊鋭	工藤 信樹	久保 光彦	熊田 卓
	黒肱 敏彦	黒松 亮子	小井戸一光	神崎 修一	上妻 志郎	國分 茂博	小柳 左門
	紺野 啓	税所 宏光	斎藤 明子	酒井 輝文	坂口 正剛	佐々木 明	佐々木勝己
	佐々木 博	佐世 正勝	椎名秀一朗	汐崎 陽	篠村 隆一	地挽 隆夫	島本佳寿広
	下村 壯治	庄野 弘幸	白木 克哉	須藤 俊之	住野 泰清	須山 正文	諏訪道博
	瀬尾 育式	高沢 謙二	高田 悦雄	高橋 正一郎	高本 眞一	高元 俊彦	宝田 明
	竹内 和男	竹内 康人	田中 伸明	棚橋 善克	田内 潤	千葉 喜英	千原 國宏
	辻本文雄	鶴長 泰隆	戸原 恵二	中尾 伸二	長川 達哉	中川 浩	中島 美智子
	中谷 敏	中村 憲司	中村 昌平	中村 武史	中山 淑	名取 道也	西垣 洋一
	西村 敏博	沼田 功	野崎 士郎	野田 愛司	橋本 千樹	秦 幸吉	畠 二郎
	秦 利之	羽田 勝征	蜂屋 弘之	林 輝美	原 量宏	原田 烈光	万代 恭嗣
	菱田 仁	平井都始子	平田 真美	平野 豊	平間 信	廣岡 芳樹	福重 淳一郎
	福田 信夫	藤井 康友	藤代 健太郎	藤田 直孝	藤本 眞一	古幡 博	堀口 祐爾
	本田 伸行	幕内 雅敏	真口 宏介	舛形 尚	益澤 学	増山 理	町田 薫
	松田 康雄	松谷 正一	松本 廣嗣	松本 正幸	三神 大世	水重 克文	皆越 眞一
	嶺 喜隆	三原 謙郎	宮武 邦夫	村田 和也	望月 剛	森 秀明	森田 久樹
	森安 史典	安田 是和	柳原 敏宏	山雄 健次	山口 徹	山越 芳樹	山田 博康
	山近 史郎	山中 桓夫	山根 隆明	山本 克之	尹 聖哲	横沢 保	吉川 純一
	吉田 清	吉田 寛	林 英宰	渡辺 五朗	渡邊 精四郎		

(資料7)

除 名 者

(平成16年3月31日現在該当者)

386名

内訳 正 会 員 308名

準 会 員 78名

学生会員 0名

賛助会員 0社

(資料8)

名 誉 会 員 推 薦

本学会名誉会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. イイヌマカズヒロ
飯 沼 一 浩 氏

功 労 会 員 推 薦

本学会功労会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. オオハシカツヒロ
大 橋 勝 彦 氏

第6回特別学会賞

松尾裕英(四国電力総合健康開発センター)

中鉢憲賢(東北学院大学電気工学科)

第3回松尾賞

里見元義(長野県立こども病院)

第4回技術賞

TissueStrain Imaging

神田良一¹ 阿部康彦¹ 小林 豊¹ 坂口文康¹ 米山直樹¹ 鈴木智子² 高松勝幸²
小役丸貴士² 大島文雄² 永井岳年²
(東芝メディカルシステムズ(株)、東芝医用システムエンジニアリング(株))

超音波血管Volume mode

山下優子¹ 赤羽睦弘¹ 阿部周二¹ 若林洋明¹ 本橋健一¹ 井沢恒久² 望月 剛¹
(アロカ(株)、アロカシステムエンジニアリング(株))

第18回菊池賞(論文賞)

基礎領域

超音波用可撓性伝送線路及び大口径振動子との高効率結合技術の開発30(4)
守屋 正(東京都立大学)

AutomaticVirtual Transducer Locating System to AssistinInterpreting UltrasoundImaging30(Winter)
谷口信行(自治医科大学)

循環器領域

EchocardiographicallyEvaluated SiteofAttachment of AtrialMyxoma May Predict Recurrence30(Summer)
BalaramShrestha(東京女子医科大学付属病院)

腹部領域

TheUsefulness of Mesenterium ThicknessasanIndexofVisceralFat Accumulation30(Autumn)
小野倫子(自治医科大学)

泌尿器領域

鍼刺激が尿噴流に及ぼす影響の検討30(2)
手塚清恵(明治鍼灸大学大学院)

【顕彰委員会】

委員長

菅原基晃

副委員長

里見元義

委員

(基礎)秋山いわき 椎名 毅 渡辺五朗
(消化器)秋本 伸 斉藤明子 竹中 克 吉田 清
(循環器)高沢謙二
(産婦人科)上妻志郎
(泌尿器)斉藤雅人 中村昌平
(総合)小西 豊 谷口信行

以上15名